

令和7年度

帯状疱疹予防接種のご案内

令和7年度から帯状疱疹が予防接種法のB類疾病に位置づけられ、令和7年4月1日から定期接種が開始となりました。法律で定められた帯状疱疹予防接種を、一部負担金をいただき公費で実施します。接種期間を過ぎると補助を受けることができませんので、接種をご希望の方はお早目にご検討ください。

【接種期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 令和7年度対象者

①以下の生年月日の方

年齢	対象 生年月日
65歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生
70歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生
75歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生
80歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生
85歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生
90歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生
95歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生
100歳	大正14年4月2日～昭和元年4月1日生
100歳以上	大正14年4月1日以前の生まれ

②令和7年4月1日以降において60歳～64歳の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方。

2 帯状疱疹予防接種のワクチン

・帯状疱疹のワクチンは2種類あります。

	生ワクチン（ビケン）	不活化ワクチン（シングリックス）
接種回数・接種間隔	1回	2回（2ヶ月以上の間隔をあける）
接種時の注意	病気や治療によって免疫が低下している方は接種できません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
自己負担額	4,000円	10,700円

※自己負担額は生活保護世帯の方は無料

3 実施医療機関

①別紙の医療機関一覧をご覧ください。事前に必ずご予約ください。

②県内の上伊那以外の一部の医療機関でも接種できます。実施可能か医療機関へお問い合わせください。

4 注意事項

①補助の対象となる期間は通知のあった年度のみとなります。

②対象年齢の方でも、過去に生ワクチンを1回または不活化ワクチンを2回接種したことがある場合

は補助の対象となりません。任意で接種した場合はお手数ですが接種日をご連絡ください。

<問い合わせ先>
伊那市役所健康推進課予防係
電話 78-4111 (内) 2332

带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘に係った時に体の中に潜伏した「水痘带状疱疹ウイルス」が再活性化することにより、神経支配領域に沿って典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水泡が出現する病気です。

合併症の一つに皮膚の症状が治った後も残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

带状疱疹ワクチンの効果

	生ワクチン(ビケン)	組換えワクチン(シングリックス)
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

※合併症の一つである「带状疱疹後神経痛」に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割程度以上と報告されています。

ワクチンの安全性

- ・ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- ・頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフラキシーが見られることがあります。

	生ワクチン(ビケン)	組換えワクチン(シングリックス)
ワクチンを接種した部位の症状	発赤、かゆみ、熱感、腫れ、痛み、硬結、倦怠感	痛み、発赤、筋肉痛、疲労、頭痛、腫れ、悪寒、発熱、胃腸障害、かゆみ、倦怠感等

予防接種の注意事項

【接種が不適当な方】次のいずれかに該当する場合は、接種ができません。

- ①明らかな発熱を呈している方
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ④上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方
- ⑤生ワクチンについては、免疫機能に異常のある方、免疫を抑制する治療を受けている方

【接種要注意者】次のいずれかに該当する場合は、注意して接種してください。

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな方
- ②予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③過去にけいれんの既往のある方
- ④過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

【接種後の注意】

- ①接種当日は激しい運動を避けてください。(接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射したところをこすらないでください。)
- ②接種後に発熱したり、接種した部位が腫れたり、赤くなったりすることがありますが、通常、数日中に消失します。
- ③接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診療を受けてください。